

気付けばもう、暖かい季節がやってきました。

新しい年度の始まりです。

みなさん、気持ちをリセットし、今年度も頑張っていきましょう。

新年度看護方針

看護部長 久米 淳子

4 月です! ぴかぴかの新人達がやってきました。心なしか築 52 年の病院も、新しく生まれ変わったような。。。(← 気のせいです)

新病院へ向かって、今年度は、成果を上げる年です。ひとりひとりが実践してこそ、初めて成果に繋がります。誰かがやってくれるのではなく、あなたも私も「やるっきゃない!」です♪看護部目標は、部署目標にリンクし、部署目標は個人目標にリンクし、それぞれが繋がっています。目標は行動するためにあり、ひとりひとりが行動することで初めて組織目標が達成でき、新病院へと繋がります。23 年度も引き続き、看護部理念（下図参照）に基づき、生き生き職場の土台の上に、「人材育成」「経営改善」「接遇」の 3 本柱（看護部目標）を立てていきます。

看護部理念: おもてなしの心と看護の心で地域の人たちを大切にし、安全で安心できる看護を提供します

おもてなしの心とは、対象を差別することなく、「自分を愛する」ように「人を愛すること」対等な立場で相手を尊重し、心の交流を行うという意味です。ひとりひとりが、大切にされていると感じられてこそ、人は相手を気遣い、人の気持ちに共感し寄り添えます。「みんな違ってみんないい」「ひとりひとりが宝物」これが私の人間観でもあります。



看護部理念に基づき、常滑市民病院看護部行動指針を以下に述べます。

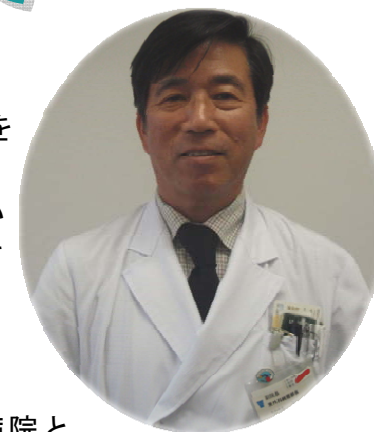
1. 患者様を尊重し、個々のニーズに応じた心のこもった看護を提供します。
2. 安心・安全な質の高い看護サービスを提供するため、人間的成長と能力開発（自己啓発）に努めます。
3. チーム医療を推進し、地域との連携をはかり、継続した看護を実践します。
4. 個々のコスト意識を高め、経営改善に取り組みます。
5. ひとりひとりが大切にされていると感じられる活気ある職場環境づくりに努めます。

最後に・・・、道は険しいかもしれないけれど、それでこそ歩きがいもあるというもの。楽し

新院長になって

新院長 中山 隆

平成 23 年 4 月から、鈴木前院長の後をついで院長を拝命しました。37 年間にわたって常滑市民病院を誰よりも愛し、支え、誰よりも仕事をしてきた鈴木前院長の後任が無事つとまるだろうか？不安でいっぱいです。皆さんご存知の通り、どこの公立病院も経営的には極めて厳しい状況にあります。また常滑は、市の財政そのものが病院同様ひっ迫しています。その中で、昨年末の市長の平成 27 年の新病院開設宣言以降、入院患者の増加も目覚しく、経営的にもいい兆候が見え始めています。しかし、当然のこととして皆さんの仕事は忙しくなっています。このような時に市民病院が本当に市民に愛され、市民に密着した市民病院としてあり続けるために、皆さんがきちんと、かつ楽しく仕事ができる環境を作ることが、私の仕事だと考えています。新病院建設がすべての目的ではありませんが、私たちの“希望”だと思います。大変な道程ですが“希望”に向かって皆さんのご協力をお願いします。



新年度教育方針

教育師長 水谷 英子

今度、新たに教育師長として任命されました水谷です。現任教育委員会は 12 名の委員で構成されています。全員がベテラン看護師で私はとても心強いです。今年度は、中島師長という心強い味方が現れました。ともに全員で協力しながら研修の企画、運営をやっていこうと思います。年度末には、みなさんの研修レポートや評価表などがダンボール箱いっぱいになります。みんなの汗と知の結晶です。平成 21 年 7 月 保助看法 第 28 条の 3 に免許を受けた後も資質の向上を図るようにしなければいけない「研修の努力義務化」という法律が制定されました。施設の研修を整備すること、また自らも努力することが求められています。それぞれが自己責任で知識の向上に努めなければなりません。当院の研修も新たなものがどんどん企画されます。みなさん！ どうせ参加するなら楽しく学びましょう！！ 私のもう一つの仕事に、看護協会主催やその他の研修の応募、出張の手続き、復命書の確認を行っています。（みなさん一週間以内ですよ）復命書の感想を読むと新たに知識を吸収した様子が分かります。外に出て自院のいいところがいっぱい見えてきますよ！新年度の教育計画の申し込みを待っています。みなさん気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお願いします。



院内研修

新人 集合教育 ローテーション研修始まります。温かく迎えましょう！

Happy Wedding

入籍 西 4 階病棟 石川(旧田中) 久美さん おめでとうございます。

退職者

眼科 臼井 嘉医師

2 階 助産師主任 八木 和子さん

お疲れさまでした。

認定看護師新年度活動方針

認定看護師の活動方針を聞きました。認定看護師と共にみなでよい看護が提供できるよう、頑張っていきましょう！

感染管理認定看護師

医療安全環境管理室 牧野 みゆき

感染対策の要となる感染対策チーム（ICT）や感染リンクナースと協力しながら院内の全部署に対し、組織横断的にタイムリーに活動を行なっていきたいと思います。今年度は、感染リンクナースによる院内ラウンドの復活を目指しています。自部署の感染対策の実践モデルであるリンクナースが、現場の問題を把握し対策を考え対応していけるよう支援していきたいと思います。

また、感染管理には患者様はもちろん家族や面会者、院内に従事する全ての人を感染から守ることが求められます。感染対策の重要性を職員ひとりひとりが理解し、組織全体として取り組むことが出来る感染対策を目指して活動していきたいと思います。感染対策は本質的には地味な活動です。アウトブレイクが火事だとすれば、それをボヤで防ぐための活動が感染対策になります。最近は新しい多剤耐性菌の出現などもあり、ますます感染制御も難しくなっていますが、みんなで力を合わせて対応していきたいと思います。



皮膚・排泄ケア認定看護師

3階 松本 昌樹 松浦 美都

皮膚・排泄ケア認定看護師の今年度の目標として

①「褥瘡ハイリスク患者加算取得」があります。これは500点の診療報酬に反映され、患者さんには今まで以上の褥瘡予防・治療を提供することができます。その為に褥瘡ハイリスク患者の特定、褥瘡治療計画書立案の徹底を各病棟で浸透させていきたいと思います。

次に②「ストーマ外来開設」です。ストーマ保有者はこの地域でも多く、相談できる場がありません。その為、受け皿となるような外来を開設していきたいと思います。

最後に③「院内研修の充実（キャリアアップ研修）」です。経験年数や自己研鑽に合わせた専門性のある研修を行い、病院全体の知識・技術の向上を図りたいと考えています。皮膚・排泄ケア認定看護師は当院で唯一2人いる分野です。その強みを活かし、協力して皆さんと目標達成をしていきます。



摂食・嚥下障害看護認定看護師

東4階 岸岡 陽子

摂食・嚥下障害というものは、1日では目に見えた改善は見られません。しかし時間をかけて訓練を継続していく事で、今まで経口摂取できなかった人が口から食事する事が出来たり、誤嚥を起こさず日々過ごせるようになっていきます。摂食・嚥下障害は、怪我の様に完全に傷が治り、無くなるものではありません。その為、障害とうまく付き合っていくことで、日々生活を安全に安楽に送ることができます。訓練は、病院だけのものではなく、退院後も継続が必要です。継続する為には退院先のスタッフや家族に、摂食・嚥下障害について理解してもらう必要があります。継続的に訓練や摂食条件を守っていく為には、私1人では難しく、スタッフの協力が必要です。今年度は、訓練の継続や摂食条件の維持など、退院指導に繋がられる様、主任さんをはじめスタッフの方々へ、研修を行っていかこうと考えています。患者さんが美味しくご飯が食べる事が出来る様、一緒に頑張っていきましょう。



認定看護師教育課程がん化学療法看護分野修了生

西4階 原田 拓也

昨年、がん化学療法の教育を受けさせていただき、自分の役割は何か、看護師の役割は何か考える機会がありました。気付いた事は「看護師は患者さんのためにいる」ということです。今思えば当たり前だなーと感じます。前フリが長かったのでそろそろ本題に入ります。

新年度の活動方針のテーマは「スタッフの知識の底上げ」です。患者さんへのがん化学療法看護は、薬剤の特徴、副作用（出現時期・対応）、薬物動態、レジメン、支持療法などの知識（要するに引き出し）がないとできません。そこでまず各副作用について勉強会を開催することを考えています。嘔気・嘔吐、過敏症、神経障害、下痢、便秘、口内炎、心毒性など様々ありますので勉強会を通してスタッフ皆さんに広めていき、それぞれのマニュアルを整備していきたいと思います。これは私だけではできません。皆さんの力が絶対必要です。一緒に患者さんを第一と考える、がん化学療法看護を築いていきましょう。



お帰りなさい。
がん性疼痛看護師養成コース研修終了、お疲れ様です。
尾之内 赤実さん今後の活躍を期待しています。

編集後記：広報委員になって気付けば一年が過ぎていました。より楽しい看護だよりを届けられるように頑張っていきます。 富田